

朝日工業株式会社 2015年3月期 第2四半期決算説明会資料

2014年11月5日

1. 連結業績推移および 2015年3月期第2四半期連結業績/通期連結業績予想 (百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 予想(5/12開示)	2015年3月期	
				第1-2Q実績	通期予想 (11/5開示)
売上高	40,175	43,591	41,000	15,068	37,000
営業利益	△ 1,176	△ 562	1,400	△ 550	550
経常利益	△ 1,235	△ 641	1,350	△ 547	500
当期純利益	△ 1,480	△ 11,093	550	△ 375	600

2. セグメント別 売上高 および セグメント利益 (百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 予想(5/12開示)	2015年3月期		
				第1-2Q実績	通期予想 (11/5開示)	
売上高	鉄鋼建設資材事業	24,961	26,242	24,000	8,595	20,800
	農業資材事業	12,729	14,628	14,200	5,209	13,500
	環境ソリューション事業	695	723	800	300	650
	砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	1,800	1,994	2,000	947	2,000
	その他	374	223	200	71	150
	調整額	△ 385	△ 221	△ 200	△ 55	△ 100
	計	40,175	43,591	41,000	15,068	37,000
セグメント利益	鉄鋼建設資材事業	△ 1,045	△ 1,210	1,200	△ 431	350
	農業資材事業	881	1,532	1,000	271	950
	環境ソリューション事業	1	19	40	5	20
	砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	77	146	120	56	140
	その他	4	△ 30	△ 40	△ 13	△ 20
	調整額	△ 1,095	△ 1,018	△ 920	△ 438	△ 890
	計	△ 1,176	△ 562	1,400	△ 550	550

3. 鉄鋼建設資材事業 および 農業資材事業の実績

	単位	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 予想(5/12開示)	2015年3月期		
					第1-2Q実績	通期予想 (11/5開示)	
鉄鋼建設資材	鋼材販売数量 計	千トン	391	409	350	128	315
	異形棒鋼	千トン	288	303	300	104	255
	構造用鋼	千トン	103	107	50	24	60
	鋼材販売単価	千円/トン	61	62	66	65	65
	スクラップ払出単価	千円/トン	29	35	34	34	31
	メタルスプレッド	千円/トン	32	27	32	32	33
農業資材	肥料販売数量 計	千トン	112	127	120	39	115
	内有機肥料	千トン	73	80	75	27	75
	肥料販売単価	千円/トン	81	84	84	84	85

4. 2015年3月期 第1-2Qの業績分析

鉄鋼建設資材	・製鋼工場操業停止および鉄筋需要の伸び悩みにより減収 ・コストダウンの推進およびメタルスプレッドの拡大により収益が改善
農業資材	・肥料事業: 消費税増税前の前倒し出荷の反動の影響により減収減益 ・園芸事業: ホームセンターでの秋シーズンに向けた企画展開により販売数量拡大 物流コスト低減への取り組み ・種苗事業: カボチャの新品種の試作拡大、アニモの品種改良 ・乾牧草事業: 徹底した仕入れコスト削減
環境ソリューション	・放射能分析は増加したが水質・土壌の分析業務が減少し減収減益
砕石砕砂・マテリアルリサイクル	・生コン需要は引続き堅調であったが、製造設備の修繕費が増加し増収減益

5. 今後の取り組み

鉄鋼建設資材	・高付加価値製品(高強度鉄筋・太径鉄筋・ねじ鉄筋)の販売強化 ・土木物件を中心とした大型プロジェクトの積極受注 ・エネルギー使用量削減などコストダウン活動の一層の強化
農業資材	・肥料事業: エコレットの販売強化により販売エリア拡大 新規エコレット銘柄の市場投入 ・園芸事業: ホームセンター取扱い店舗数および取扱いアイテム拡大 ・種苗事業: カボチャ・アニモの新品種市場投入のための販売活動 ・乾牧草事業: 仕入れコストの低減および東海での販売拡大
環境ソリューション	・放射能測定業務、官公庁や民間の調査分析業務の拡大
砕石砕砂・マテリアルリサイクル	・好調な需要を背景とした販売価格の値上げ推進